

韓国

マクロ経済動向

韓国銀行(中央銀行)が12月2日に公表した2016年第3四半期の経済成長率(改定値)は、季節調整値で前期比0.6%(年率換算2.4%)で、前期の同0.8%を下回った。需要項目別に見ると内需では、最終消費支出は同0.8%で前期から横ばい。固定資本形成は同2.0%で前期の同2.7%から低下した。その内訳では建設投資は同3.5%で前期の同3.1%から上昇した。一方、設備投資は同0.2%で前期の同2.8%から低下している。外需である財・サービスの輸出は同0.6%で前期の同1.1%から低下した。

2016年第3四半期の鉱工業生産指数は季節調整値で前期比0.6%となり、前期の同1.1%から低下した。月次では10月に前月比▲1.3%、11月に同3.4%となっている。

2016年第3四半期の失業率は季節調整値で3.8%であった。月次では10月に3.7%、11月は3.6%となっている。

2016年第3四半期の貿易収支は(IMF方式)286億ドルの黒字、月次では、10月は98億ドル、11月は105億ドルの黒字である。

2016年第3四半期の対ドル為替レートは1ドル=1120ウォンで、前期の同1163ウォンから増価した。月次では10月に同1128ウォン、11月に同1163ウォン、12月に同1183ウォンと推移している。

2016年第3四半期の消費者物価上昇率は前年同期比0.8%であった。月次では10月に前年同月比1.5%、11月に同1.5%、12月に同1.3%と推移している。また、2016年第3四半期の生産者物価上昇率は前年同期比▲1.8%であった。月次では10月に前年同月比▲0.1%、11月に同0.7%と推移している。

2017年の経済見通し

12月7日、政府系シンクタンク韓国開発研究院(KDI)は

2017年の経済見通しを発表した。これによると2017年の経済成長率は2.4%で2016年(予測)の2.6%を上回る。期間別の成長率では前半は前年同期比2.2%で、後半は同2.5%に上昇すると見込んでいる。

需要項目別では、内需の民間消費が2016年(予測)の2.4%から2017年は2.0%と低下すると予測している。設備投資は2016年(予測)の▲3.7%のマイナスから2017年には2.9%に回復すると見込んでいる。建設投資は2016年(予測)の10.1%から2017年には4.4%に低下すると見込んでいる。

消費者物価上昇率は2016年(予測)の1.0%から、2017年には2.5%に上昇すると見込んでいる。また食料品などを除いたコアインフレ率は2016年(予測)の1.5%から、2017年には1.2%に低下するとみている。

成長の減速によって雇用情勢の悪化が予測され、失業率は2016年(予測)の3.8%から、2017年には3.9%に上昇すると予測している。

朴大統領弾劾訴追案の可決

朴槿恵大統領の辞任を求める大規模なデモが続く中、国会は12月9日に大統領弾劾訴追案を与党議員の一部を含む賛成多数で可決した。これに基づき大統領の職務権限は停止され、黄教安首相が憲法上の大統領の権限を代行することとなった。

訴追案可決により憲法裁判所による弾劾裁判が開始された。判決は最長180日以内と定められているが、国政の混乱の長期化の懸念から2~3カ月以内に出されるという見方が強い。弾劾が認められた場合、大統領は罷免され、60日以内に大統領選が実施されることとなる。一定期間の政治的空白は避けられない。

こうした中、12月13日の閣議で柳一鎬副首相兼企画財政相は、不透明な経済状況に対応するため、自治体等に2017年初からの迅速な予算執行を要請した。

(ERINA調査研究部主任研究員 中島朋義)

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	15年10-12月	16年1-3月	4-6月	7-9月	2016年10月	11月	12月
実質国内総生産(%)	3.7	2.3	3.0	3.3	2.6	0.7	0.5	0.8	0.6	-	-	-
最終消費支出(%)	2.3	2.2	2.2	2.0	2.4	1.3	0.1	0.8	0.8	-	-	-
固定資本形成(%)	▲1.0	▲0.5	4.2	3.1	3.8	▲0.9	1.2	2.7	2.0	-	-	-
鉱工業生産指数(%)	6.0	1.3	0.7	0.2	▲0.6	▲0.9	0.1	1.1	0.6	▲1.3	3.4	-
失業率(%)	3.4	3.2	3.1	3.5	3.6	3.4	3.8	3.7	3.8	3.7	3.6	-
貿易収支(百万USドル)	29,090	49,406	82,781	88,885	120,290	31,756	27,884	33,006	28,588	9,830	10,522	-
輸出(百万USドル)	587,100	603,509	618,157	613,021	548,838	136,777	118,002	127,882	127,878	43,339	46,460	-
輸入(百万USドル)	558,010	554,103	535,376	524,135	428,548	105,021	90,117	94,876	99,290	33,509	35,938	-
為替レート(ウォン/USドル)	1,108	1,127	1,095	1,053	1,132	1,157	1,201	1,163	1,120	1,128	1,163	1,183
生産者物価(%)	6.7	0.7	▲1.6	▲0.5	▲4.0	▲4.4	▲3.3	▲2.9	▲1.8	▲0.1	0.7	-
消費者物価(%)	4.0	2.2	1.3	1.3	0.7	1.1	1.0	0.9	0.8	1.5	1.5	1.3
株価指数(1980.1.4:100)	1,826	1,997	2,011	1,916	1,961	1,961	1,996	1,970	2,044	2,008	1,983	2,026

(注)国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数は前期比伸び率、生産者物価、消費者物価は前年同期比伸び率、株価指数は期末値

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数、失業率は季節調整値

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、生産者物価、消費者物価は2010年基準

貿易収支、輸出入はIMF方式、輸出入はfob価格

(出所)韓国銀行、統計庁他